



公益財団法人 榊原記念財団

附属 榊原記念病院

SAKAKIBARA HEART INSTITUTE

循環器診療のご案内



私たちの目指す医療

01 患者・家族のニーズを理解し納得される医療

02 国際的に認知される水準の専門医療

03 地域のニーズに応じた救急医療や災害医療

04 地域に開かれた診療

05 専門職の育成と臨床研究

Message



院長 磯部 光章

当院は、24時間救急を断らず、質の高い循環器専門医療を安全に提供することを開院以来の伝統としています。国際的に認知される水準の医療を行い、また患者さんが満足・納得される医療を追求することで、広く社会に貢献してまいります。附属クリニックは、当院の外来部門として、また病院の都心の窓口として緊密な連携を図り診療しています。病院の医師も診療にあたっています。

病院概要

理事長	矢崎 義雄
院長	磯部 光章
許可病床	303床
診療科	心臓血管外科、小児心臓血管外科、循環器内科、小児循環器内科、循環器救急科、血管外科、リハビリテーション科、産婦人科、放射線科、病理診断科、麻酔科、内科、外科、小児科
指定・認可	地域医療支援病院 東京都災害拠点連携病院 東京都指定二次救急医療機関 東京都難病診療分野別拠点病院〔循環器疾患〕 東京都周産期連携病院 (休日・全夜間診療事業(産科)医療機関) 感染症法第一種協定指定医療機関 看護師の特定行為に係る厚生労働省指定研修機関

1977.11	渋谷区代々木に開院
2003.12	府中市に移転

国際評価

World's Best Specialized Hospitals 2025
において優れた病院として、
心臓血管外科、循環器内科が表彰されました。



患者満足度

毎年、日本医療機能評価機構患者満足度調査を実施し、診療の質向上、患者満足度向上に努めています。

東京都委託事業

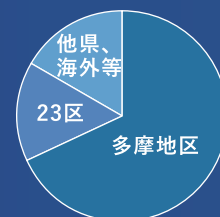
- 東京都 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業を受託
- 東京都 心不全サポート事業を受託

2024年度実績

2024年度
入院
患者数

9,864名

多摩地区
6,740名(68.3%)
23区
1,507名(15.3%)
他県、海外等
1,617名(16.4%)



2024年度
カテーテル
実績

6,040件

診断カテ
経皮的冠動脈形成術(PCI) 1,064件
不整脈アブレーション 1,277件
ペースメーカー、ICD等 572件
TAVI, TEER, ※その他の構造的疾患治療 548件
血管治療 231件

小児 467件
その他 130件
※TAVI: 経カテーテル的大動脈弁置換術
TEER: 経カテーテル的
Edge-to-edge修復術
(MitraClip®など)

2024年度
心臓血管
手術実績

1,733件

冠動脈バイパス術 228件
弁膜症手術 437件
大血管手術 348件
末梢血管手術 212件
小児(成人先天性心疾患手術を含む) 327件
その他 181件
上記のうち、MICS(低侵襲心臓手術)は163件です。

安心と信頼の 高度循環器診療を

循環器領域に特化した地域医療支援病院として、
胎児から高齢者に至るあらゆるライフステージにおける
患者さんを対象に専門的な高度循環器診療を行っています。
さらに、都心部における外来機能の役割を担う附属クリニックと
一体となった切れ目のない診療体制を構築している
ハイボリュームセンターです。



虚血性心疾患

合併疾患や重症・複雑化への適切な対応

冠動脈疾患は高齢化が進み、合併疾患も多く、重症・複雑化しています。
当院では、自覚症状と迅速な冠動脈CTによる診断及び精密な虚血評価を組み合わせ、多職種合同カンファレンスで至適な治療法を決定しています。特に低侵襲治療による術後の生活の質を重視しています。



院長補佐
循環器内科 主任部長
七里 守



心臓血管外科 主任部長
岩倉 具宏

心臓弁膜症

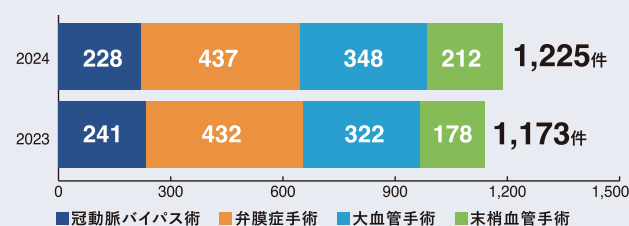
増加し、複雑化する弁膜症に対し、患者ごとに最適な治療法を選択

カテーテル治療はカテーテル専門医、心臓血管外科医、麻酔医、心エコー医がワンチームとなって行っています。また、透析症例や高齢者の経皮的動脈弁置換術(TAVI/TAVR)も多く手がけています。弁置換、弁形成手術は4K-3D内視鏡を用いた完全鏡視下MICS(低侵襲心臓手術)で行っています。術後は集中治療医や理学療法士などの多職種が早期回復を支えます。治療法は多様で適応は拡大しています。治療適応の有無についてもご相談ください。

■年間1,200件以上の成人心臓血管手術

成人心臓血管手術のうち、冠動脈疾患は約200件、心臓弁膜症は約400件です。冠動脈バイパスのほとんどはオフポンプ(心拍動下手術)、130件はMICS(低侵襲心臓手術)で行っています。

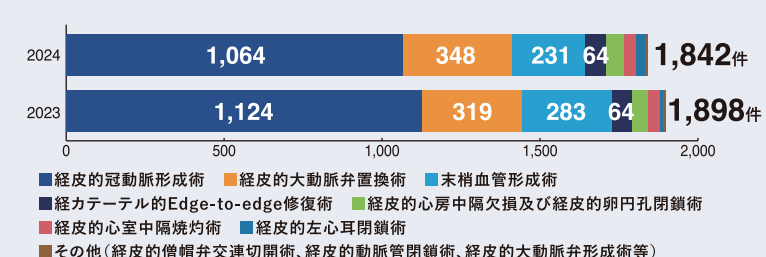
[成人心臓血管外科手術件数]



■年間2,800件以上の成人カテーテル治療(不整脈を含む)

冠動脈、弁膜症それぞれに特化した専門チームが治療に当たります。特に大動脈弁・僧帽弁のカテーテル治療が増加しています。脳卒中の専門医とも連携し、心臓が原因となる脳梗塞のカテーテル治療(左心耳閉鎖術、卵円孔閉鎖術)を行っています。新しい治療を積極的に活用して、患者ごとに最適で低侵襲かつ安全な治療を行っています。

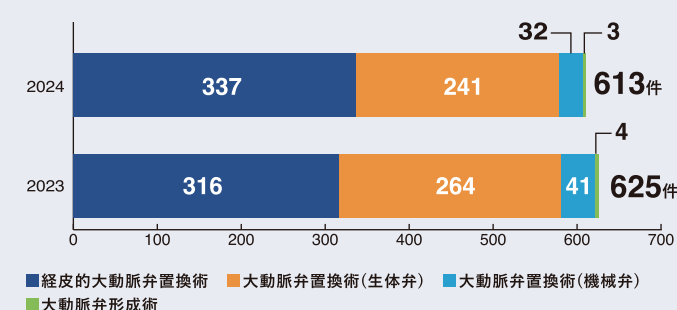
[成人カテーテル治療件数(冠動脈・構造的な心疾患・末梢血管)]



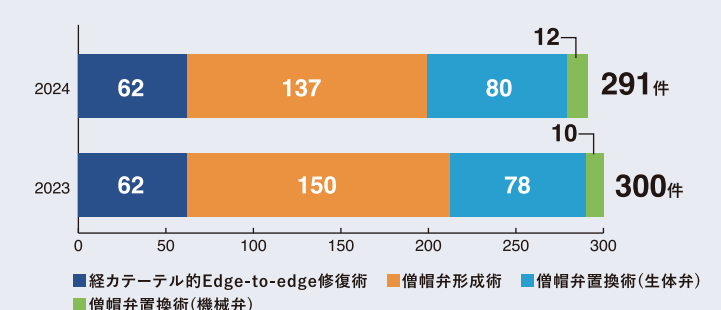
■最近2年間の弁膜症治療の推移と内訳

大動脈弁・僧帽弁とも手術では生体弁置換術が増加しています。
カテーテルによる治療では経皮的大動脈弁置換術(TAVI/TAVR)、経カテーテル的Edge-to-edge修復術(MitraClip®など)が増加しています。

[大動脈弁治療件数]



[僧帽弁治療件数]



不整脈

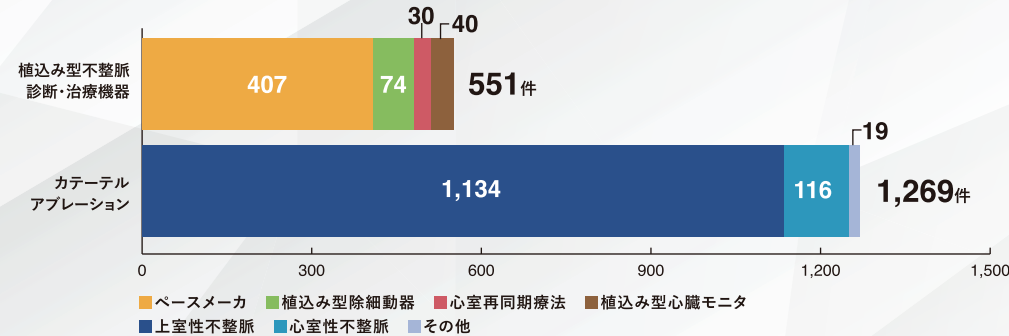
多様な不整脈疾患に対応しています

内科治療に加えて、カテーテルアブレーション、ペースメーカ・除細動器などの植込み機器による治療を実施しています。ペースメーカ植込み後は、遠隔診療によりモニタリングを行っています。リード抜去、カテーテルによる左心耳閉鎖(WATCHMAN®)、外科的心房細動治療(MAZE手術・WOLF-OHTSUKA法)も行っています。初回の心房細動アブレーションの9割以上は、手術時間が短く患者負担の少ない、パルスフィールドアブレーションを行っています。

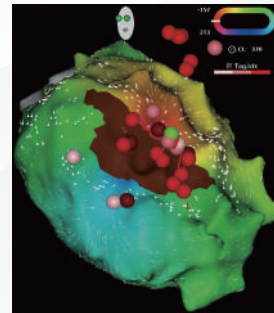


副院長
循環器内科 主任部長
新田 順一

[不整脈治療件数(2024年)]



[カルトマッピングによる心室頻拍の治療]



心不全

心臓リハビリテーション

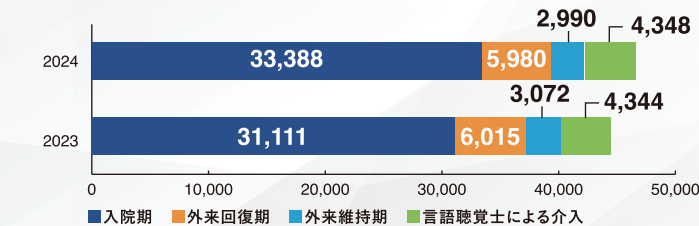
退院支援カンファレンス、心臓リハビリテーションが退院後の生活・療養を支援します

心不全の入院患者数は、年間600名以上。冠動脈疾患や弁膜症などの原疾患の積極的治療はもとより、退院支援カンファレンス、心臓リハビリテーション、生活・福祉支援を通じて、地域のかかりつけ医や在宅医と連携しています。約20名の慢性心不全看護認定看護師や心不全療養指導士が対応します。特に高齢者の再入院を減らすことと、生活の質向上に努めています。

包括的心臓リハビリテーション

心臓手術の翌日や、心筋梗塞の急性期からリハビリテーションを導入しています。退院後も運動療法に加えて、生活・栄養指導や薬剤管理指導、就業・復職支援まで含めた包括的心臓リハビリテーションを行っています。

[入院心臓リハビリテーション新規導入件数]



心筋症

肥大型心筋症の総合診療を行っています

薬での治療が不十分な患者へはチームで治療方針を決めて、経皮的な中隔心筋焼灼術(PTSMA)または外科的中隔心筋切除術による”中隔縮小治療”を行っています。

[2024年治療件数]



特任副院長
高梨 秀一郎



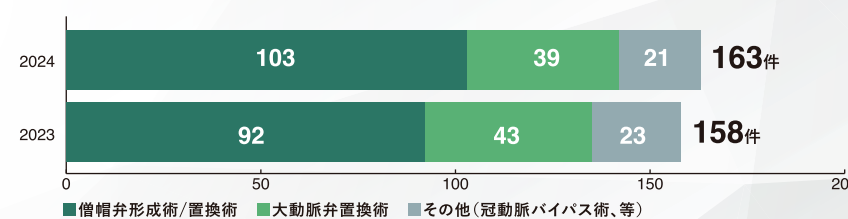
肥大型心筋症センター長
高山 守正

低侵襲心臓病総合治療センター

術後の負担を軽減する低侵襲手術を行っています

心臓手術後の生活の質を左右するのは、切開創の大きさと部位です。心臓弁膜症手術やバイパス手術などで、術後の傷も目立たず、出血が少なく、感染リスクも低く抑えられる4K-3D内視鏡を用いた完全鏡視下MICS(低侵襲心臓手術)を積極的にを行っています。切開創が約3cmと小さいため、術後の運動制限が少なく、早い方は術後7日間程度で退院が可能です。

[MICS(低侵襲心臓手術)件数]



[MICSによる切開創の一例]

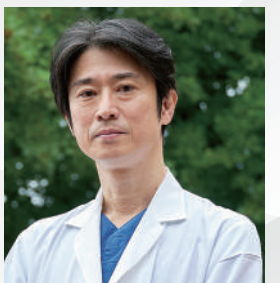


30代男性
僧帽弁閉鎖不全症に対して乳頭下の肋間小切開によるMICSで僧帽弁形成術を施行

小児心疾患手術

短時間・無輸血・小切開・低侵襲の手術を目指しています

単純なシャント性心疾患はもとより、重症例まで手術しています。産婦人科との協働により出生前から治療計画を立案します。特に先天性心疾患の手術は複雑な心内修復術から、単心室、大動脈と肺動脈を入れ替える手術まで対応しています。

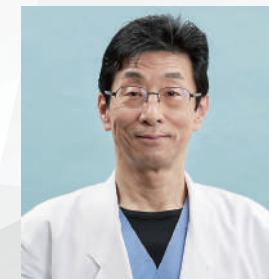


小児心臓血管外科 主任部長
和田 直樹

血管外科

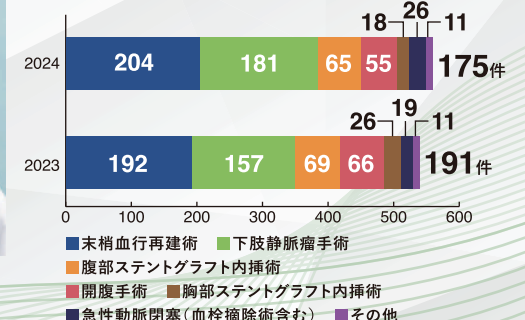
外科・内科のチームが対応します

様々な大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈疾患に対応しています。大動脈ステントグラフト、閉塞性動脈硬化症の手術と血管内のハイブリッド治療も行います。静脈瘤では日帰り手術が可能です。



血管外科 主任部長
新本 春夫

[血管外科治療件数]





産婦人科 医長
井澤 美穂

産婦人科

すべての妊婦さんの安心で安全な分娩をサポートしています
すべての女性に安心で丁寧な診療を提供しています

妊娠前のご相談から、出生前診断(NIPT)、胎児スクリーニング超音波検査などの出生前検査、無痛分娩、産後ケアに対応します。また、循環器専門病院として、母体心疾患と胎児心疾患についても循環器内科と協働して診療しています。
さらに、循環器疾患合併女性の月経トラブル、プレコンセプション・カウンセリング(妊娠前相談)、婦人科診療を通じて健康を支援します。



産婦人科 部長
酒井 啓治

小児循環器内科

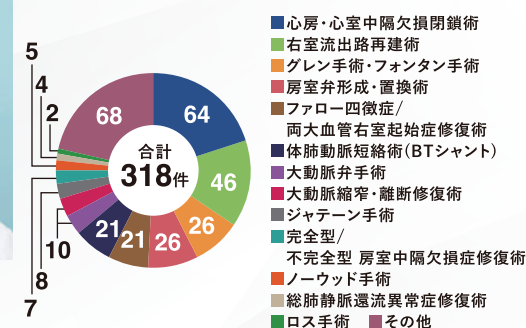
多様な心疾患を診療します

新生児から成人までの先天性心疾患、小児期発症の後天性心疾患、川崎病後遺症、不整脈、心筋疾患など、循環器領域全般にわたって診療しています。



院長補佐
小児循環器内科 主任部長
松井 彦郎

[小児心臓手術件数(2024年)]



臨床遺伝科

先天性の病気や遺伝病の診断、遺伝カウンセリングを行っています。特にマルファン症候群、遺伝性不整脈、心筋症など循環器系遺伝病の診療をしています。遺伝学的検査の認定施設として、各種遺伝子診断、カウンセリングにも力を入れています。
これまでにマルファン症候群などの遺伝子診断は 400 件以上、NIPT は 2,000 件以上の実績があります。



臨床遺伝科
森崎 裕子

成人先天性心疾患センター(ACHDセンター)

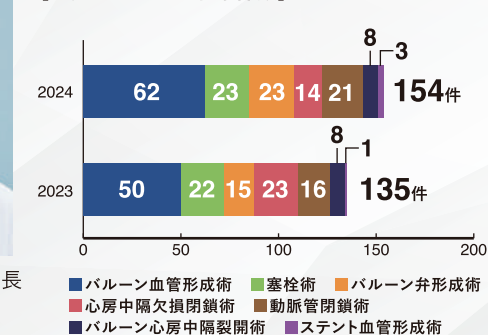
新生児から成人まで一生をカバー

全国に先駆けて経皮的肺動脈弁置換術(TPVR)を導入しました。小児循環器内科、循環器内科、心臓血管外科、産婦人科、臨床心理士、理学療法士など多職種のチームが診療します。円滑な移行医療を行い、心臓病総合支援センターと協働して社会福祉士、両立支援コーディネーターとともに生活支援、就業・就学支援に取り組んでいます。

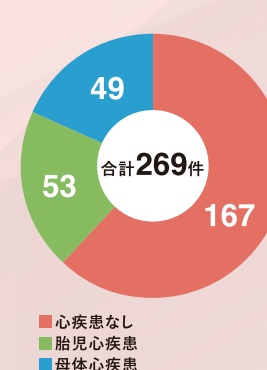


成人先天性心疾患センター長
矢崎 論

[小児カテーテル治療件数]



[分娩件数(2024年)]



[母体心疾患の内訳(2024年)]

先天性心疾患	19例(ファロー四徴症、完全大血管転位症など)
不整脈	13例(QT延長症候群、ICD留置など)
弁膜症・心筋症	11例(機械弁置換術後など)
虚血性心疾患	3例(川崎病、冠動脈瘤など)
大動脈疾患	1例(高安静脈炎、マルファン症候群など)
その他	2例

[胎児心疾患の内訳(2024年)]

ファロー四徴症・両大血管右室起始症	10例
大血管転位症	6例
左心低形成症候群・単心室	13例
その他	24例



2025年3月新車になりました。

救急診療

東京都 CCU ネットワーク・急性大動脈スーパーネットワークの参加施設で、緊急手術・緊急カテーテル治療に 24 時間フルタイムで常駐する専門医が対応するとともに、お断りすることなく入院治療を行います。

また、2022 年第 1 回 SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞 医療の部（24 時間・100% 受け入れを目指して救急医療体制を敷き、成果を上げている）を受賞しました。

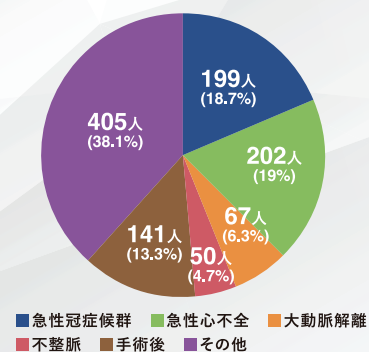
年間4,500件以上の循環器緊急患者を受け入れています

2024 年は成人 230 件、小児 73 件の緊急手術、277 件の急性冠症候群の緊急診療に対応しました。東京都 CCU ネットワークで最多の急性冠症候群患者を受け入れています。

モバイルCCUをご利用ください

モバイルCCU(高規格ドクターカー)を導入し、循環器救急医療に活用しています。片道30分圏内の医療機関からの救急要請に応じて、医療チームが直ちに出勤し、搬送中から救急車内での早期治療を可能にしています。

[2019年8月～2025年3月出動内訳]



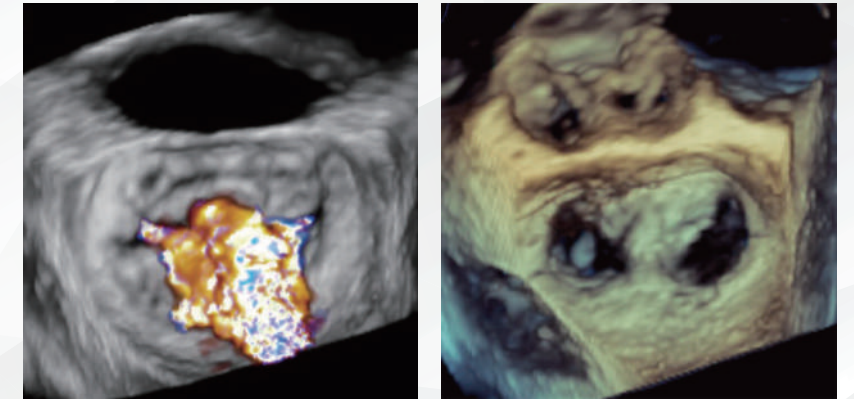
対象疾患	急性冠症候群、重症心不全、大動脈緊急症、致死的不整脈、急性心筋炎、肺動脈血栓塞栓症など	通常装備	12誘導心電図、除細動器、気管挿管物品、経皮的ペースメカ、携帯型心エコー装置、心血管作動薬
依頼方法	搬送要請時に、モバイルCCUを要請する旨をお伝えください		
対応時間	平日 8:30～16:00 電話 042-314-3111		
対象地域	当院よりおよそ30分圏内(府中市、調布市、狛江市、稲城市、国立市、国分寺市、小平市、小金井市、武蔵野市、西東京市、三鷹市、多摩市、立川市、東久留米市、日野市、八王子市、世田谷区の一部)	装備可能な機器	ECMO(PCPS=経皮的心肺補助装置)、大動脈バルーンポンピング(IABP)、人工呼吸器、非侵襲的陽圧換気装置(NPPV)、補助循環デバイス(IMPELLA)

画像診断

心臓病や大血管疾患を正確に診断するために、診断装置等の更新を続けています

2 管球型 CT、1.5 テスラ MRI、半導体検出器を用いたシンチカメラなどの放射線診断機器、多数配備された心エコー装置（経食道、3D を含む）などによる画像情報に加え、心肺運動負荷（CPX）、睡眠時無呼吸検査などを含めた多角的な検査法を駆使して、安全、低侵襲で正確な診断を目指しています。外来では心エコーは即日施行、他の画像検査も緊急撮影が可能です。お待ちせない予約に努めています。

〔経カテーテル的Edge-to-edge修復術(MitraClip®など)の術中経食道心エコー図〕



地域医療連携

心臓病総合支援センター

地域医療支援病院として、紹介患者と紹介医にきめ細やかに対応します

病診連携・病病連携・市民や福祉との連携を図りながら、登録医・サテライトクリニックの先生方とともに地域連携の充実を推進しています。高額医療機器の共同利用ができます。さらにかかりつけ医からの予約で、診察予約及び外来診察なしで心臓超音波検査(ファストエコー)もご利用いただけます。

地域の先生方と、定期的な勉強会・講演会を実施しています。

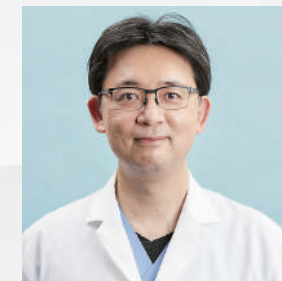
[2024年度] 紹介率:79.4% 逆紹介率:187.5%

令和6年度に厚生労働省のモデル事業実施病院に選定され、令和7年度からは東京都委託事業実施病院として、循環器病対策への取組みをしています

心臓病総合支援センターでは、医師、社会福祉士、両立支援コーディネーター、臨床心理士、理学療法士、看護師が心臓リハビリテーションを取り入れた総合的プログラムや両立支援外来を展開しています。多職種、職場、本人、家族をつないだWEB会議を行って、職場復帰、就業に成果を挙げています。

【主な活動】

- 一般市民・医療関係者用相談窓口対応
- 市民公開講座の開催
- 就業・復職・就学支援
- 医療関係者向け講演会
- かかりつけ医の紹介
- 遠隔心臓リハビリテーション
- 福祉の案内



循環器内科 部長
医療連携室長
高見澤 格



循環器内科 部長
心臓病総合支援センター長
心臓リハビリテーション室長
中山 敦子

心臓を守る循環器病対策への取組

東京都 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

- 一般市民・医療関係者用相談窓口
- 【心臓病総合相談窓口】
- 心臓を守る健康教室
- ～料理・運動・薬・親子～
- 心臓病両立支援セミナー



東京都 心不全サポート事業

- 訪問診療で活用いただくための携帯型心エコー機器の貸出
- 看護・介護関係者向け研修会
- 北多摩南部・北部医療圏地域連携交流会
- 心不全療養指導士交流会



医療連携室のご案内

患者さんのご紹介やご報告、その他様々なお問い合わせに対応しています。

患者さんのご紹介

医療機関専用（医療連携室直通）

TEL 042-314-3142（平日 8:30 ～ 17:15）

FAX 042-314-3199

救急の場合

直接お電話でご相談ください。

TEL 042-314-3111

モービル CCU 要請（平日 8:30 ～ 16:00）

ファストエコー

診察予約及び外来診察なしで、
簡単に心臓超音波検査をご利用いただけます。

検査枠（火）～（金）1日2枠（9:30/13:30）※（月）は9:30のみ

申込方法 ファストエコー申込用紙をご記入の上、医療連携室にFAXをお送りください。

報告書 循環器専門医による報告書を作成し、検査後概ね1週間以内に郵送します。

各種申込用紙はホームページからダウンロードしてお使いください。

・外来予約申込用紙 ・ファストエコー申込用紙 ・セカンドオピニオン関連 ・NIPT予約/紹介状



申込用紙

心臓病総合相談窓口

心臓・血管の病気を持つ患者さん、ご家族が安心して療養・生活できるようメール相談窓口を開設しています。

医療関係者も利用可能です。

相談は無料です。



相談窓口

榊原トピックス

ボストン小児病院・榊原記念病院共催 小児循環器病webinar

主に若手小児循環器医師を対象に、米国の大学病院等でスタッフとして勤務する日本人指導医による講演と、
当院からの症例提示を行い、質疑応答をしながら理解を深めるライブでの講演です。

開催 3～10月、第3（木）、19:00～



webinar

榊原記念病院主催 胎児心エコーwebinar

産婦人科医、小児科医、臨床検査技師を対象に胎児心疾患のスクリーニング力を高めるための教育的な講演です。

開催 毎月、第4（水）、19:20～



ドナルド・
マクドナルド・
ファミリールーム
榊原記念病院



2023年12月、世界260か所以上で開設されている『ドナルド・マクドナルド・ファミリールーム』が日本で初めて当院に開設されました。
ファミリールームは、入院中の子どもに付き添うご家族のための「心と身体の休息場所」であり、わが家のようにくつろげる、小児病棟に隣接したあたたかな空間です。



DMHC



公益財団法人 榊原記念財団

附属 榊原記念病院

〒183-0003

東京都府中市朝日町3-16-1

Tel.042-314-3111（代表）



WEBサイト



医療関係者



榊原記念病院附属クリニック

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-5-4

榊原記念ビルディング 1～3階

Tel.03-3375-3111（代表）

Tel.0570-00-5277（ナビダイヤル）



WEBサイト